

ジェンダー平等社会へ 四国比例に女性衆院議員を

衆議院比例四国・名簿掲載予定



21日、松山市駅前片岡朗衆院愛媛1区予定候補と演説、新しい日本をつくる7つの提案を紹介し、「誰一人置き去りにしない政治を」と呼びかけました。



18日、高知市内5カ所街頭宣伝。夜、高知地区活動者会議であいさつ。

19日、高知市中央公園北口での「市民と野党の共同宣伝 & 集会」と革新懇総会で、高知1区の武内のりお、2区の広田一両衆院議員らと訴え。安芸市で女性のつどい。20日は街宣も。



17日、総選挙党比例候補(現職以外)のオンライン会議に参加。



勝利するための力をつけようと、続々と新入党員を迎えています。徳島ではいつも元気に舞踊を披露して下さる方が、高知ではコロナに負けずご商売を頑張る女性が、そして宣伝カーのアナウンサーをしてくださった方が次々と入党を決意。こんな嬉しいことはありません。人生をかけた決意に添えて、次こそ必ず勝つ！と胸の奥から熱い思いが湧いてきます。

よう子記

13日、香川県では立憲民主党の小川淳也衆院議員とコラボトーク。小川氏は「野党がしっかりしないと国民の行き場がない。積極的支持を得られるよう、まとまっていく努力が大事」と。政治を変える確かな力がここにあることを実感した1週間でした。

この日、高知市で立憲民主党の武内のりお衆院議員、広田一衆院議員と街頭からご挨拶。「四国から野党連合政権の扉を開き、100代目の首相は野党連合政権から出そう」と訴えました。

5年前の9月19日、憲法を踏みじり強行成立させられた「安保法制」。ここから市民と野党の共同は始まり、紆余曲折もありながら、連合政権をめざすまでに大きく前進。国会の首相指名で日本共産党は「枝野幸男」と書いて投票。野党であと100議席も取れば、野党連合政権は現実となります。憲法違反まで引き継ぐという「安倍コピペ政権」の菅新政権を共闘の力で短命に終わらせようではありませんか。
